



心と心をつなぐ ～高齢者配食サービスに季節の作品を添えて～

【目的と経緯】

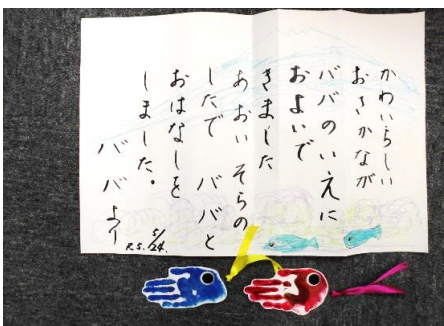
西桂町社会福祉協議会の事業の一つに高齢者配食サービスがあります。

昼食時に社協の職員がお弁当を届けるのですが、その時に「園児が作った作品と一緒に届けたい」という提案をいただき、年長児が季節の作品を作り、お弁当に添えて一緒に届けています。

【内容】

年長児が毎月季節の作品、こいのぼりやりんご、サンタクロースなどを作り、社会福祉協議会へ届けています。

直接、高齢者の方に届けることはできませんが、「おじいさん、おばあさんのために作っている」「作品が届くと、おじいさんが喜んでくれる」という子どもたちの思いを大切にしながら、顔の見えない高齢者との交流事業を行っています。



【成果と課題】

配食サービスを受けた高齢者の方からお礼の手紙が届きます。毎月、お礼の手紙を下さる「ババ様」がいて、子どもたちも「ババ様からの手紙」を心待ちにしています。顔を見ることはないのですが、園児の作品と手紙という形でのやり取りのなか、『心と心をつなぐ』そんな交流事業になっていると感じています。

今後も継続をしていき、子どもたちの心を届けたいと考えています。

